

2010年度（平成22年度）特定研究助成募集・推薦要項

1. 2010年度（平成22年度）財団指定研究テーマ

『生体成分・細胞・合成薬剤等を組み入れた Combined Devices（複合的・複合型医療機器）』に関する基礎研究及び応用研究。

但し、研究内容は、指定研究テーマにかかる独創的・基盤的研究とします。

2. 申請者

国公立大学及びその附属研究所・施設、国公立研究所・施設に所属する研究者で、それぞれ所属研究機関・施設を異にする2～3名程度で構成する共同研究とします。研究は国内で行われるものに限り、共同研究者のうち1名を共同研究の主たる研究者として明示して下さい。主たる研究者が申請書を作成し、その所属する大学等の研究機関・施設の推薦を受け、申請して下さい。

3. 採択件数、助成金額及び助成期間

- (1) 2010年度（平成22年度）財団指定研究テーマで1件採択します。
- (2) 助成金額は、1年につき1,000万円、原則として3年間の助成を予定しております。
- (3) 2年度以降については、前年度までの研究成果を付して、その都度申請して戴きます。

4. 推薦者

- (1) 大学の大学院研究科・学部では研究科長・学部長。単科大学では学長。
- (2) 大学附属（病院、研究所、施設）・国公立（病院、研究所、施設）ではその長。
- (3) 研究科長・学部長、研究機関・施設の長が申請する場合は学長。
- (4) 当財団の理事・評議員

5. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書に限ります。

なお、推薦は別項の一般研究助成を含めて1件です。

6. 申請方法

当財団規定の特定研究申請書に「申請書記入上の注意」に従い必要事項を記入し、両面複写した原本及び**申請書のワードファイル（印章は不要）を保存したCD**を申請者が所属する研究機関・施設の事務方を通して、当財団宛に郵送して下さい（メールでの送付は不可）。但し、推薦者が当財団の理事・評議員の場合は、直接当財団まで郵送して下さい。

郵送の際、必ず共同研究者が同意した旨の当財団規定の共同研究同意書（CD添付は不要）も同封して下さい。申請書は両面印刷で3枚（6頁）とし、ワープロ作成にてご記入下さい。

7. 申請期間と助成対象期間

申請は、2010年（平成22年）6月1日～6月末日（当日消印有効）までとします。
助成対象期間は2010年12月から3年間になります。

8. 選考方法

2010年（平成22年）9月中旬開催予定の当財団選考委員会において選考し、理事長が決定します。
申請書の評価は、専門的・学術的評価（研究課題・テーマの独創性、新規性、重要性、必要性等々）と当財団の事業目的評価の観点より行います。

9. 採否の通知

2010年（平成22年）10月初旬までに申請者の所属する研究機関・施設の事務方を通して推薦者並びに申請者宛に採否を通知します。当財団の理事・評議員の推薦の場合は、直接推薦者並びに申請者に通知します。

10. 助成金の贈呈

2010年（平成22年）12月中旬に指定された金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

11. 助成金の使途

助成金は申請書の記載の通り、使用することを原則とします。

12. 研究報告及び成果報告

2011年2月頃開催予定の贈呈式にて今後の進め方等をご報告戴きます。2年目以降は、前年の研究成果を付して申請書を提出して戴きます。助成期間の終了6ヶ月後までに成果報告会の開催と研究成果報告書の刊行及び助成期間中の会計報告をして戴きます。

13. 申請上の注意事項

研究実施にあたり、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮をして下さい。

申請書送付先・連絡先

財団法人 テルモ科学技術振興財団 事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1500 番地

TEL : 0465-81-4236 FAX : 0465-81-4237

URL : <http://www.terumozaidan.or.jp>

E-mail : zaidan@terumo.co.jp

2010年度（平成22年度）一般研究助成募集・推薦要項

1. 2010年度（平成22年度）財団指定研究領域

- (1) 医療用先端材料（ナノテクの応用なども含む）
- (2) 低侵襲・QOLの向上に役立つ診断・治療法
- (3) 再生医療（機能再建なども含む）
- (4) 次世代医療機器－人工臓器や標的治療を目的としたデバイス（DDSなど）
- (5) 診断・治療を目的とした生体成分・生理活性物質
- (6) 予防医療（感染、在宅医療、統合医療など）
- (7) 医療経済

但し、研究内容は、上記指定研究領域にかかる独創的・基盤的研究とします。

2. 申請者

- (1) 公私立大学及びその附属研究所・施設、国公立研究所・施設に所属する研究者とします。
- (2) 研究は、国内で行われるもので、単独、共同いずれでも構いません。

3. 採択件数、助成金額及び助成期間

- (1) 2010年度（平成22年度）財団指定研究領域で原則15件採択します。
- (2) 助成金額は1件につき100万円とし、助成期間は2010年（平成22年）12月1日から2011年（平成23年）11月31日までの1年間の助成です。

4. 推薦者

- (1) 大学の大学院研究科・学部では研究科長・学部長。単科大学では学長。
- (2) 大学附属（病院、研究所、施設）・国公立（病院、研究所、施設）ではその長。
- (3) 研究科長・学部長、研究機関・施設の長が申請する場合では学長。
- (4) 当財団の理事・評議員

5. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書に限ります。

なお、推薦は別項の特定研究助成を含めて1件です。

6. 申請方法

当財団規定の一般研究申請書に「申請書記入上の注意」に従い必要事項を記入し、申請書は両面複写し3枚（6頁）以内とし、原本及び**申請書のワードファイル（印章は不要）を保存したCD**を申請者が所属する研究機関・施設の事務方を通して、当財団宛に郵送して下さい（メールでの送付は不可）。但し、推薦者が当財団の理事・評議員の場合は、直接当財団まで郵送して下さい。

申請書は両面印刷で3枚（6頁）とし、ワープロ作成にてご記入下さい。

7. 申請期間

申請は、2010年（平成22年）6月1日～6月末日（当日消印有効）までとします。

8. 選考方法

2010年（平成22年）9月中旬開催予定の当財団選考委員会において選考し、理事長が決定します。申請書の評価は、専門的・学術的評価（研究課題・テーマの独創性、新規性、重要性、必要性等々）と当財団の事業目的評価の観点より行います。

9. 採否の通知

2010年（平成22年）10月初旬までに申請者の所属する研究機関・施設の事務方を通して推薦者並びに申請者宛に採否を通知します。当財団の理事・評議員の推薦の場合は、直接推薦者並びに申請者に通知します。

10. 助成金の贈呈

2010年（平成22年）12月中に指定された金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

11. 助成金の使途

助成金は申請書の記載の通り、使用することを原則とします。

12. 贈呈式への参加

2011年2月開催予定の贈呈式へのご出席をお願いします。申請者ご本人の出席になります。ご都合のつかない場合のみ代理出席も可能です。詳細は別途ご連絡致します。

13. 研究成果の報告

助成期間が終了後、2ヵ月以内に所定の様式により研究成果の概要を報告及び会計報告をして戴きます。また、研究成果は、当財団の年報あるいは研究実施報告書集などに掲載を致します。

14. 申請上の注意事項

研究実施にあたり、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮をして下さい。

申請書送付先・連絡先

財団法人 テルモ科学技術振興財団 事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1500 番地

TEL : 0465-81-4236 FAX : 0465-81-4237

URL : <http://www.terumozaidan.or.jp>

E-mail : zaidan@terumo.co.jp

申請用紙記入上の注意

1. **研究助成申請には、必ず財団指定申請用紙を使用して下さい。**財団ホームページから雛形がダウンロードできます。申請用紙に必要な事項をワープロで記入（ワープロ貼り付け可能）して下さい。用語は日本語とします。申請用紙は必ず両面印刷し3枚（6頁）以内に収め、申請者所属の事務方を通して郵送にて応募（申請）して下さい。尚、申請書用紙の雛形は、余白：上15mm・下10mm・左右13mm、文字10ポイント、文字数57字、行数56行で作成してあります。財団ホームページ：<http://www.terumozaidan.or.jp/>
2. **主たる研究者：**一般研究助成では、実際に研究を実施する方です。研究実施の代表者ではありません。特定研究助成では、共同研究グループを代表し、研究の遂行（研究成果の取りまとめを含む）に関して全ての責任を持つ方です。
3. **共同研究者の同意書：**特定研究助成の申請の場合のみ必要です。申請書に共同研究者の同意書を添付し、申請して下さい。一般研究助成では、共同研究者の同意書は必要ありません。
4. **申請研究テーマ名：**30字以内にして下さい。
5. **申請研究テーマの対象領域（一般研究助成のみ）：**申請研究テーマの最も適切な領域を一つ指定して下さい。
6. **推薦者：**所属教室・講座の長ではありません。募集・推薦要領を参照して下さい。
7. **主たる研究者の略歴：**最終卒業学校以降を記載して下さい。
8. **本研究テーマに関する他の民間助成機関への申請・採択の有無：**申請（応募）時点で記載して下さい。当財団の選考には関係ありませんので、正確に記載して下さい。
9. **申請内容要約：**わかりやすく必ず400字以内にまとめて下さい。
10. **研究目的または動機：**申請研究テーマの目的は何かを明確にして下さい。生命科学分野でどのように役立てるために行なうとしているのか等々。また、主たる研究者（申請者）がどのようなことからこの申請研究テーマが発想されたのかを記載するところです。
11. **研究実施計画の概要：**どのようにして目的達成ができるのか。現時点で考えられる実験・試験プロセスを記載して下さい。特定研究助成では、共同研究者の役割分担を明確に記載して下さい。また、研究実施にあたり、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮して下さい。前述の内容について、具体的な取り組みがあれば、ここに記入して下さい。
12. **助成金の使途内訳：**実験機器、実験用具、試薬代等々に分けて大凡の金額を記載して下さい。
13. **この研究テーマに関する研究者の現在までの実績の概要：**「研究目的または動機」との関係がありますので、関連付けを行い、記載して下さい。
14. **このテーマに関する日本および外国での研究の現状：**記載の意味は、独創性・基盤的研究であるかどうかの判断になりますので、申請者が現在把握していることを正確に記載をお願いします。
15. **このテーマに関連する主たる研究者自身の過去5年間の論文の記載：**「研究目的または動機」との関係がありますので関連性のあるものの記載をお願いします。主たる研究者の実績論文の記載ではありません。
16. **その他：**申請書の雛形は、Wordで作成しております。日本語入力環境によって入力の仕方に違いがあります。メニューの「ツール」から「オプション」を選び、「編集と日本語入力」を確認して下さい。日本語入力を「挿入モード」で入力にチェックが入っている場合は、申請書の各項目入力時にマウスで選択（黒に反転）してから書き込むとフォーマットがくずれません。